

事業所名・グループホームもも太郎さん大石田

作成日・平成 23年 3月 10日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

※「1 自己評価及び外部評価結果」を評価機関から受領した時点で、3「サービス評価の実施と活用状況（振り返り）」と併せて作成します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成 に 要する期間
1	7	利用者主体でなく、つつい何気ない対応が職員主体の対応(きちんとした説明をするがあまり利用者の訴えを否定してしまい解りにくい言葉使いになってしまう。や他利用者の対応の為待ってもらう。)となり、虐待につながっていないか。	1)利用者主体の対応(言葉・行動共に)であるかを職員個々に常に意識し対応する。 2)職員同士相互意識し合える関係作りの形成	1)職員個々に常にケアを振り返り、利用者主体の対応になっていたかを考える習慣を持ち、ミーティング等の場で情報を共有していく。 2)話し合いの場(ミーティング)を多く作る。	6ヶ月
2	23	業務に流され、じっくり向き合い共に過ごす時間が少ない。	毎日、全職員、全利用者の方との会話やスキンシップを短時間ででも良いので実践していく。	全職員、必ず全入居者様とその日一日の内、話・挨拶をする。	6ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。なお、挿入した際は、印字状態を必ず確認して下さい。